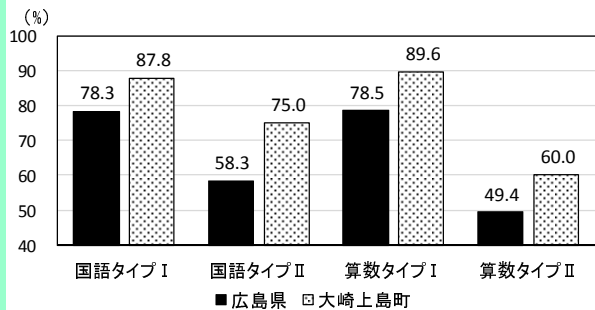


大崎上島町の取組

学力調査の結果における特徴～小学校国語・算数を中心に～

H27「基礎・基本」定着状況調査(小学校国語・算数)

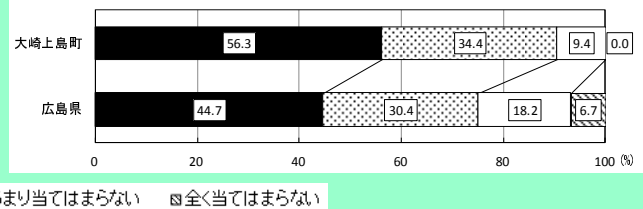
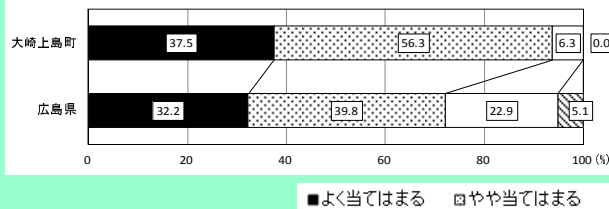


- 「基礎・基本」定着状況調査の教科調査の結果について
 - ・小学校国語・算数の調査結果(県平均差)
 - 国語タイプ I 87.8%(県平均 +9.5P)
 - タイプ II 75.0%(県平均 +16.7P)
 - 算数タイプ I 89.6%(県平均 +11.1P)
 - タイプ II 60.0%(県平均 +10.6P)
- 小学校国語・算数の児童質問紙調査の結果について
 「基礎・基本」定着状況調査 児童質問紙調査「教科学習への意識」の肯定的回答の割合
 - ・「国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。」93.8%(県平均 +21.8P)
 - ・「算数の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」90.7%(県平均 +15.6P)

H27「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)

国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。

算数の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



大崎上島町教育委員会の取組

【大崎上島町教育推進プラン】～大崎上島の将来を担う たくましく生きぬく子どもの育成～

- 広島版『学びの変革』アクション・プランと連動した「大崎上島学」(地域を学ぶカリキュラムの創造等)推進を軸に、これまでの知識の習得に加え、能動的に知識を活用する力の育成を図っています。

「知識を活用し、協働して新たな価値を生み出せるか」を重視



児童生徒が主体的に学習活動を行うことができるような授業改善、個別の指導の徹底、活用する力の育成、向上を行っています。

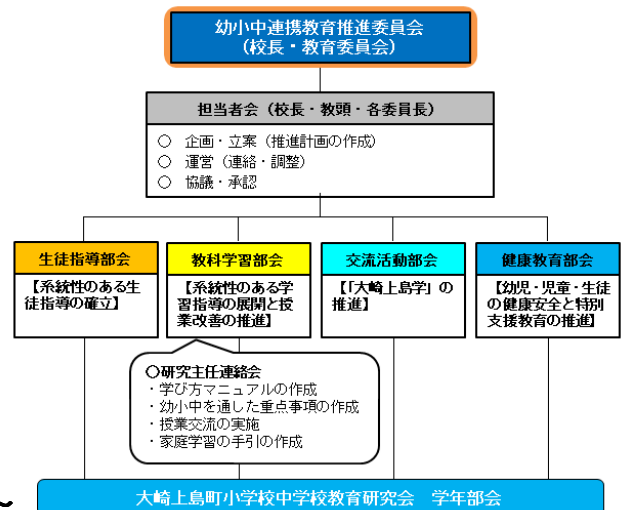
- 幼小中連携教育推進委員会を設置しています。

【推進による効果】

- ・異校種間の円滑な連携により、幼児・児童・生徒の課題を共通理解し、系統的で効果的な指導を行うことができる。
- ・指導の継続性を生かすことで、児童・生徒の学習意欲を高め学力の向上に効果がある。
- ・幼小中の教職員の協働実践を通して、教職員の資質を高め指導力の向上が期待できる。

- 町主催の教務主任、研究主任連絡会において、学力調査の分析や取組についての情報交換を行い、効果的な内容については、積極的に取り入れるようにしています。

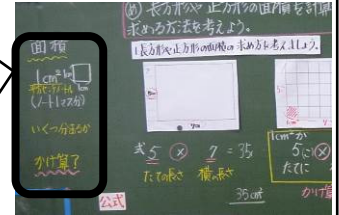
～大崎上島全体を一つの学校「チーム大崎上島」として～



算数科授業の主体的な学びのサイクル

① 分母のちがう分数の大きさのくらゐは、まず分母をそろえること。通分して考えると解けることが分かりました。さんの見通し(公倍数を使う)や解きました。公倍数も使えるけど最小公倍数で通分した方がかんたんに解けました。

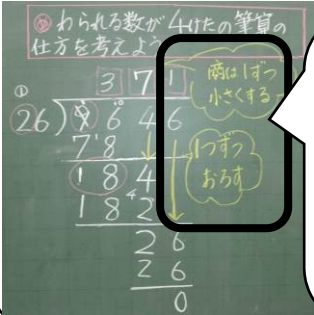
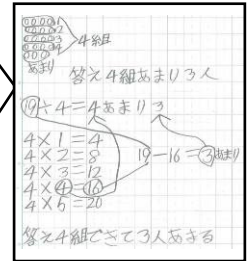
問題文や既習学習との違いから課題を見付け、全体で問題解決の見通し(何算でするか。どんな図や表を使うか)を共有する。



分かったこと・できるようになったこと・友達のよい意見・もっと学びたいこと・生活の中で生かしたいことなどを書く。

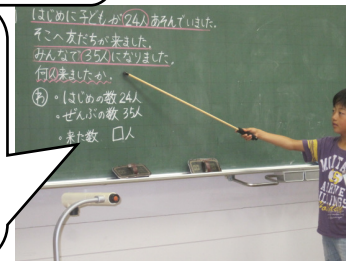


見通しを基に、式や答えの他に、そう考えた理由を言葉や図などでかく。



板書のキーワードをもとに、めあてと対応させて児童がまとめる。そのまとめを生かして、適用題を解く。

ペア・グループ・全体で話し合う。相手に分かるように問題文・図・式を対応させ、指差したり、確認したりしながら伝え合い、学び合う。キーワードは板書しておく。



単元を貫く言語活動を位置付けた国語科授業実践

1. 単元名 第4学年「生き物のひみつを3年生に紹介しよう」

2. 付けたい力

- ・ 相手や目的をはっきりさせ、書こうとする中心が明確に伝わるように、事例を挙げてリーフレットにまとめることができる。(書くことウ)
- ・ 課題に応じて必要となる図鑑や事典を選んで読んだり、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係を考えながら読んだりすることができる。(読むことイ・カ)

3. 単元を貫く言語活動

自分が興味をもったことを図鑑や事典で調べて、分かったことをリーフレットにまとめる。

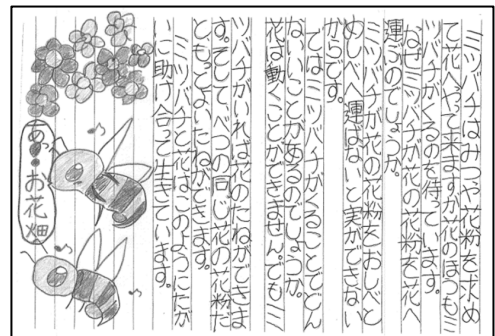
4. 単元の指導過程 (全7時間)

- 第1次 生物の生態に関心を持ち、学習の見通しをもつ。リーフレットのモデルを読み、言語活動の見通しをもつ。
- 第2次 教材文「ヤドカリとイソギンチャク」から、疑問に思ったことや調べるための視点を見付け、並行読書(図鑑や事典など)で調べたいことや書くことを探す。調べたことを分類・整理し、リーフレットを書く。
- 第3次 完成したリーフレットを3年生に紹介し、単元の振り返りをする。

⇓
並行読書
⇓

5. 単元の指導のポイント

- (1) リーフレットのモデル提示
単元全体の見通しをもたせる。
- (2) 教科書教材の取扱い
教材文で学んだことを生かしながら、リーフレットの取材・構成・記述を進める。
教材文の文章構成や具体例の挙げ方の工夫について参考となることをリーフレットづくりに生かす。ワークシートを活用する。
- (3) 目的を明確にしたペア・グループ学習の活用



【児童が作成したリーフレット】